

2. 住民意向調査（Web アンケート調査）

（1）普段利用する公園、または親しみを感ずる公園

普段利用する公園、または親しみを感ずる公園として選ばれた公園は、「碑文谷公園」が最も多く、次いで「林試の森公園」が多い。碑文谷公園は利用者数に関する現地調査や人流ビッグデータの分析結果でも利用者が最も多い公園であり、同様の傾向が見られた。

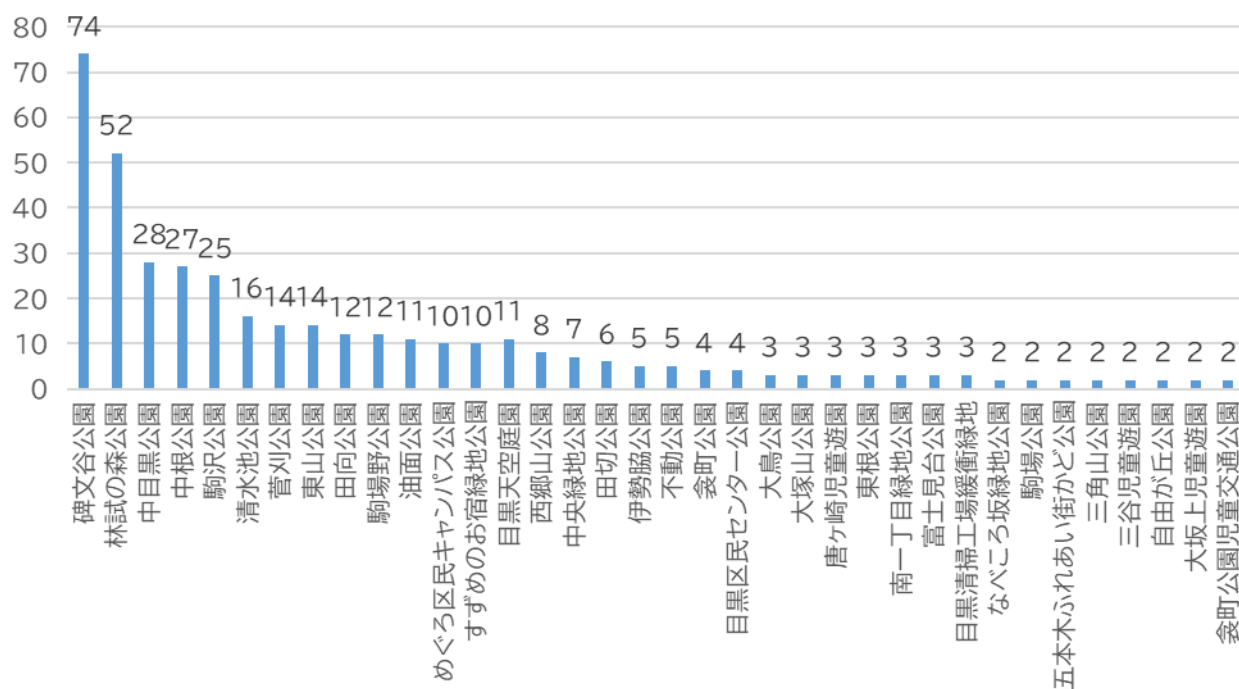


図 2-2-1 普段利用する公園、または親しみを感ずる公園

（２）公園選択の理由（複数回答－該当する項目全て）

１）令和６年度の傾向

①全体

公園の選択理由は、「自宅、学校、職場から近い」が突出して多くなっている。次いで、「自然が豊か」、「景色が良い」が多く、自然環境の豊かさも主な選択理由のひとつとなっている。

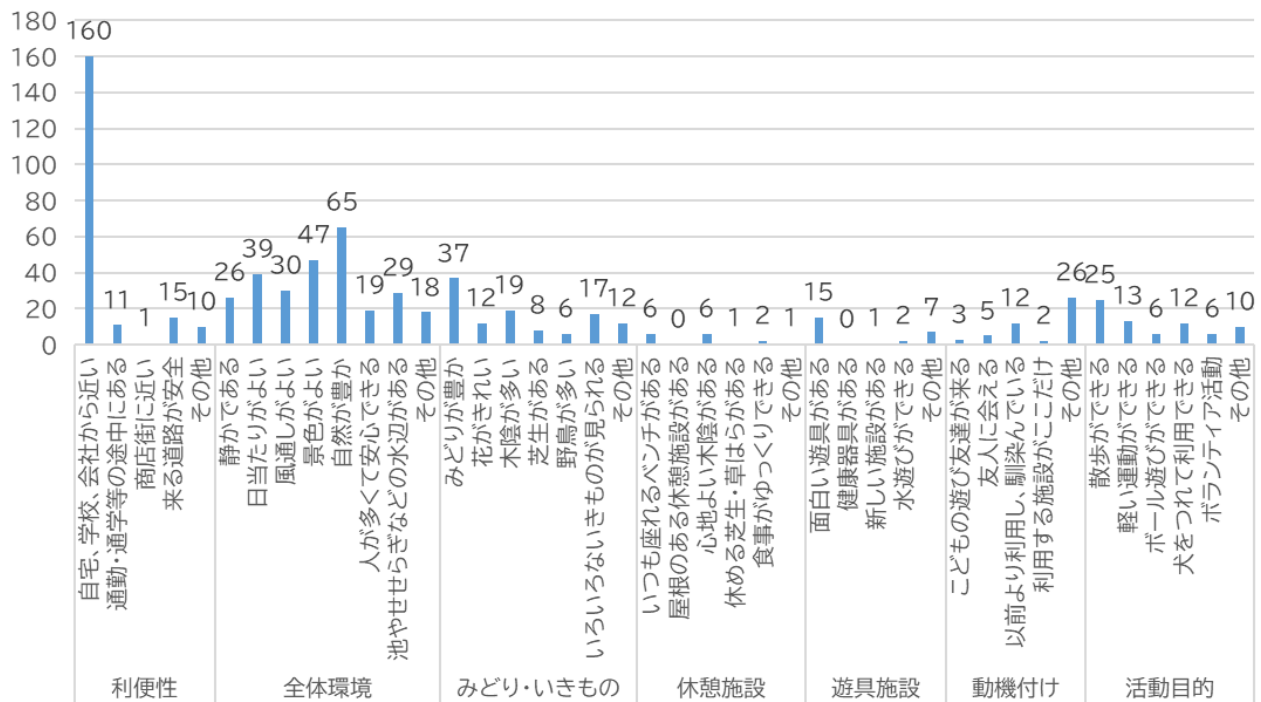


図 2-2-2 公園選択の理由（全体）

②年齢別

年齢別では、どの年代でも「自宅、学校、職場から近い」が最も多いが、２番目に多かった理由として、20～30代及び40～50代は「自然が豊か」、「みどりが豊か」、60代以上は「自然が豊か」となっており、ほとんどの世代で自然やみどりの豊かさが主な公園利用の目的となっている。

なお、小学生は１件、中高生は２件の回答があり、「自宅、学校、職場から近い」が主な選択理由であった。

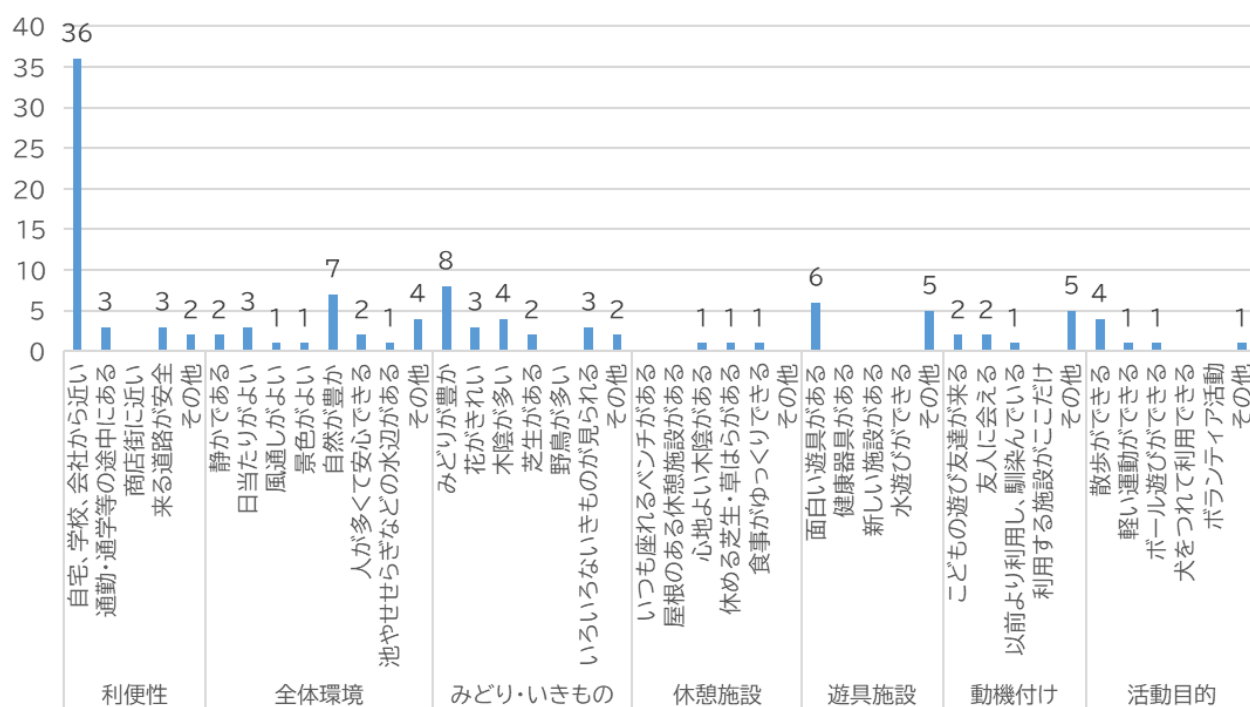


図 2-2-3 公園選択の理由 (20～30 代)

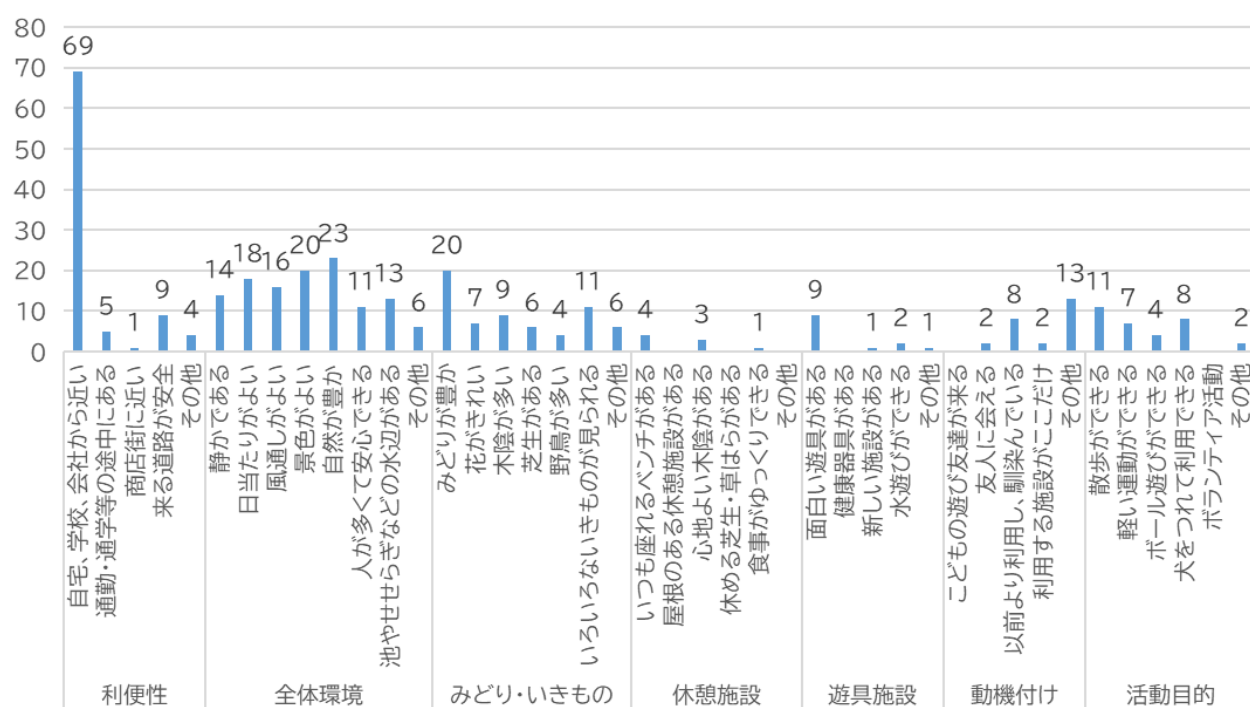


図 2-2-4 公園選択の理由 (40～50 代)

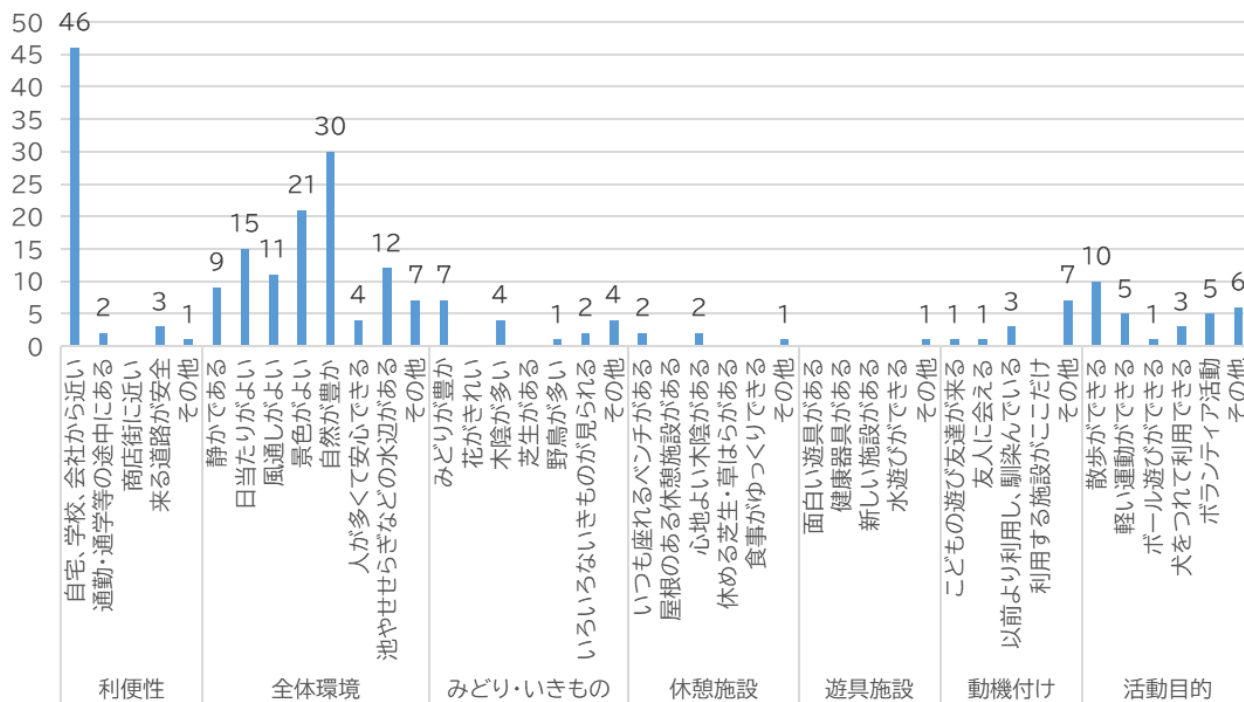


図 2-2-5 公園選択の理由（60 代以上）

③「その他」での記述

当該利用公園の特徴的な施設や利用、日常的な活動の場としての利用など、多様な選択理由が見られる。特徴的な理由を以下に示す。

<公園の特徴を理由としたもの>

- 清水池公園：樹木や遊具がふんだんにあり、池、魚、広場など家族が楽しめる
- 中目黒公園：グラウンドが広い、植栽がすばらしい、芝生にレジャーシートをひける、バスケットボールができる
- 林試の森公園：デイキャンプができた、運動できる広場もある
- 菅刈公園：和館の庭園が良い、大きな滑り台がある、
- 東山公園：広場が大きい
- 目黒天空庭園、西郷山公園：季節の花植物が楽しめる
- 碑文谷公園：ポニーに乗れる、ボートに乗れる、野球やキャッチボール
- 田向公園：日陰が多い
- 田道広場公園：サッカーボールを蹴ることができる

＜立地が主な要因＞

○仕事場

- ・みどりが見えるカフェで仕事をしている

○施設利用からの立ち寄り

- ・よく利用するスーパーに近い
- ・子どもの保育園から近い
- ・商店街に近い
- ・図書館が隣接している

＜過去の経験が主な要因＞

- ・子どもの保育園時代によく行っていた
- ・子どもが小さい頃利用し、楽しかった
- ・子どもころ、近くに住んでいてよく遊んだ
- ・子どもころ、全校遠足で来ていた

＜公園の活用が主な要因＞

- ・盆踊りで使わせてもらっている
- ・ジョギング、毎朝の散歩コース
- ・遊びの出前を実施している
- ・生きものに関連したワークショップやクラブ活動が開催されている
- ・あそぼう会で利用して居心地がいい
- ・町会活動で利用

＜公園の管理状況が主な要因＞

- ・手入れが良くセンスがある
- ・花壇の花が綺麗で管理が行き届いている
- ・清掃が行き届いている
- ・区民の手で公園を管理

2) 平成 26 年度と令和 6 年度との比較

調査方法が異なるため単純比較は難しいが、前回と同様に「自宅、学校、会社から近い」が最も多い選択理由であり、身近な場所にあることが公園の普段利用や親しみに関連することが示唆される。

■ H26 年	■ R6 年
・ 自宅、学校、会社から近い(76.2%)	・ 自宅、学校、会社から近い(38.2%)
・ 自然が豊か(15.0%)	・ 自然が豊か(15.5%)
・ 景色が良い(3.0%)	・ 景色が良い(11.2%)
・ 日当たりが良い(15.5%)	・ 日当たりが良い(9.3%)
・ 緑が豊か(28.3%)	・ みどりが豊か(8.8%)

* サンプル数—H26 : 466、R6 : 419

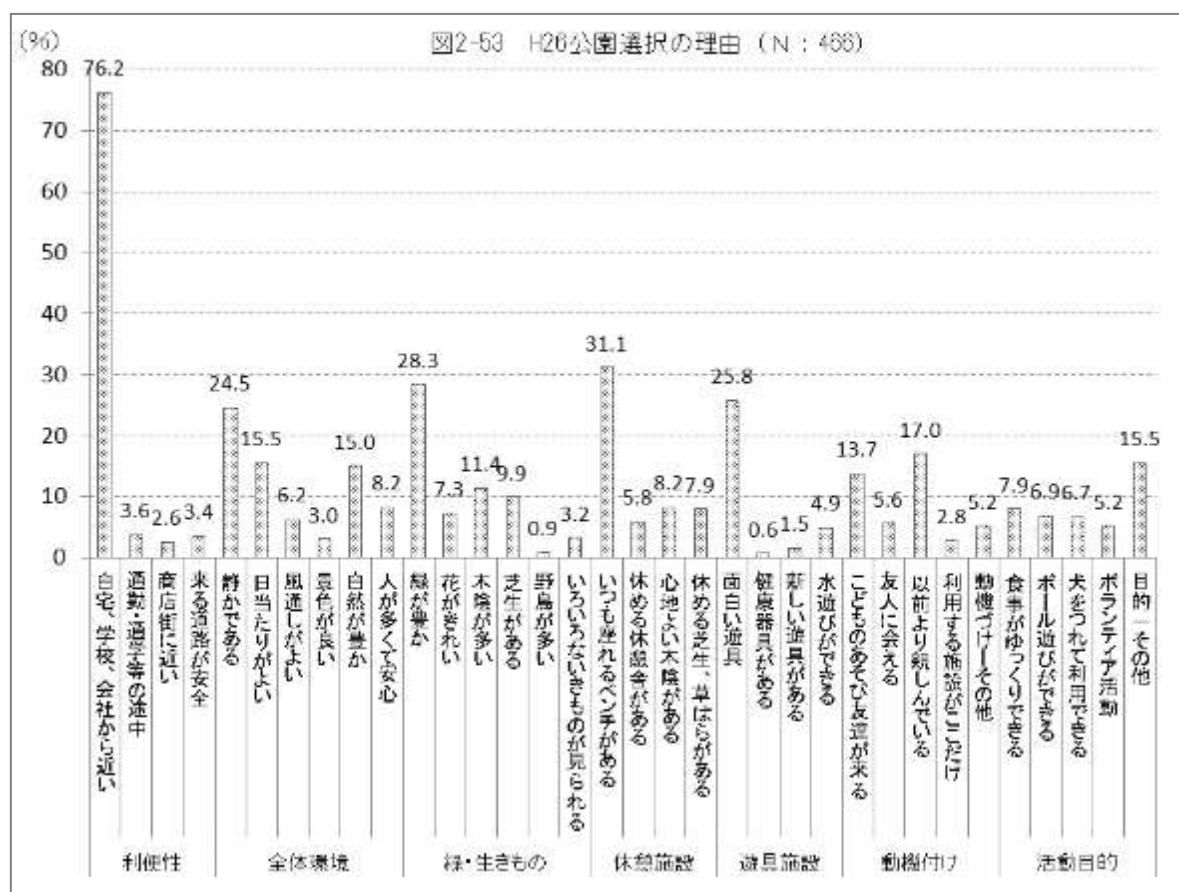


図 2-2-6 公園選択の理由 (平成 26 年度)

(3) 利用状況

公園の利用状況について、前回調査との比較等を行った。ただし、前回調査とは調査方法が異なるため単純比較が難しい点に留意が必要である。

1) 利用頻度

最も多い利用頻度は「週 1 回くらい」で 29%となっている。次いで「週 2～3 回」、「月数回」が 21%で、「年数回」の利用者が 17%である。

前回と比べて、「週 2～3 回」や「毎日」の割合が減少し、頻度の低い利用者が多くなっている。

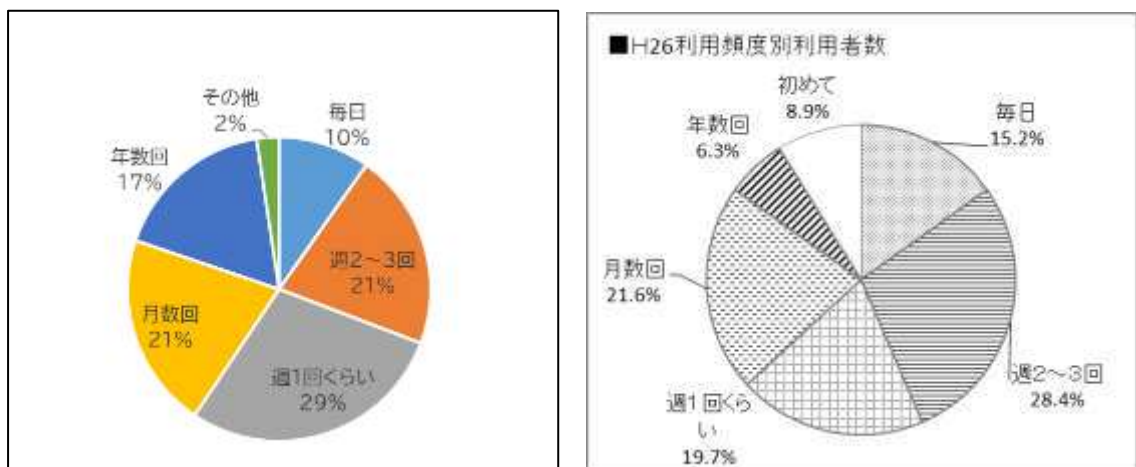


図 2-2-7 利用頻度別利用者数

2) グループ構成

グループ構成は、「家族・こども」が 48%で最も多く、次いで「一人」が 33%となっている。

前回調査と比較すると、「家族・こども」、「一人」の割合が増加し、「友人」、「グループ」の割合が減少している。

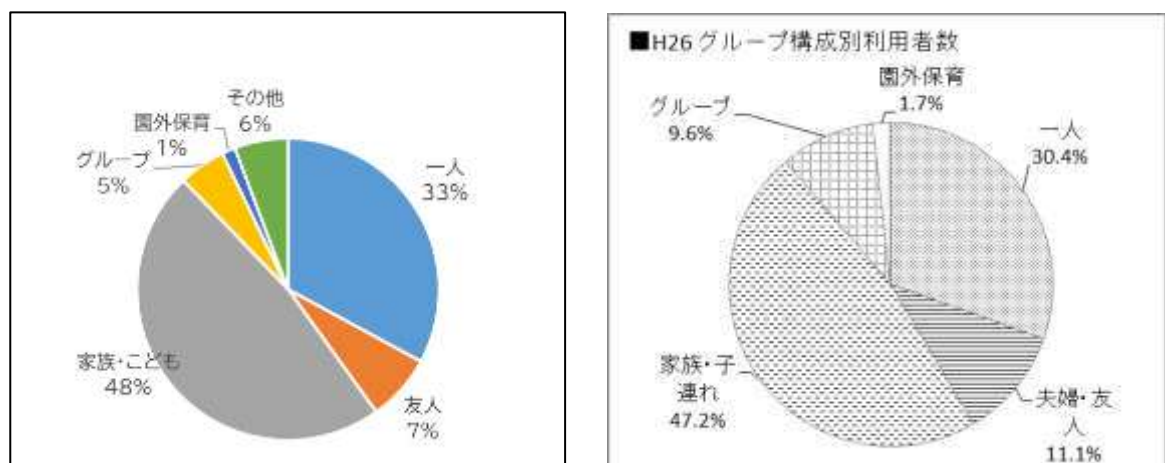


図 2-2-8 グループ構成別利用者数

3) 利用時間

「30分以内」、「1時間以内」が最も多く32%を占め、次いで「1～2時間」が26%、「2時間以上」が10%となっている。

前回との比較では、「30分以内」の割合が増加し、利用時間が短くなっていると考えられる。

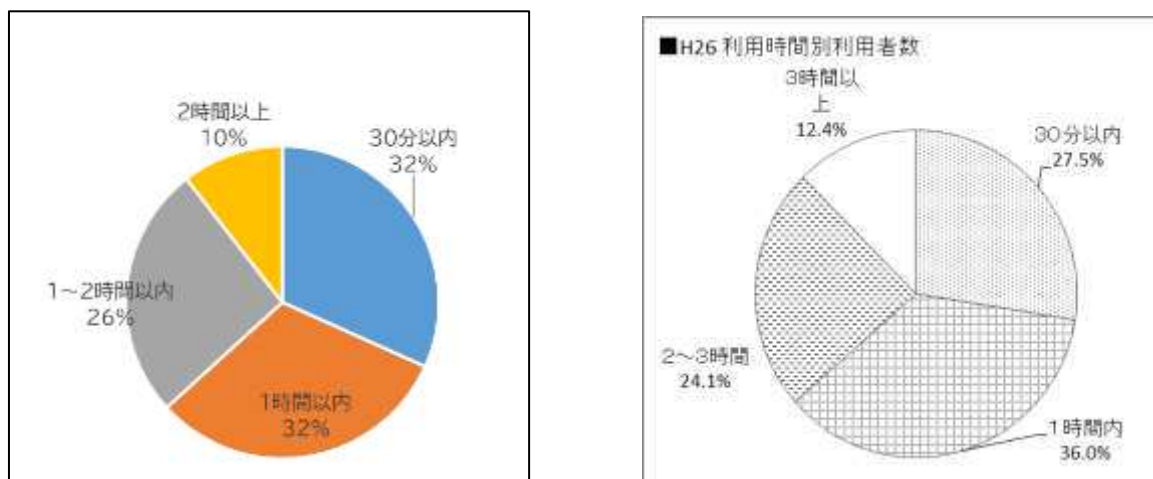


図 2-2-9 利用時間別利用者数

4) 利用時間帯

「午前中」や「午後」が最も多く28%となっており、次いで「夕方」の利用が多く22%である。また、前回調査と比べ、「夕方」の利用が増加している。

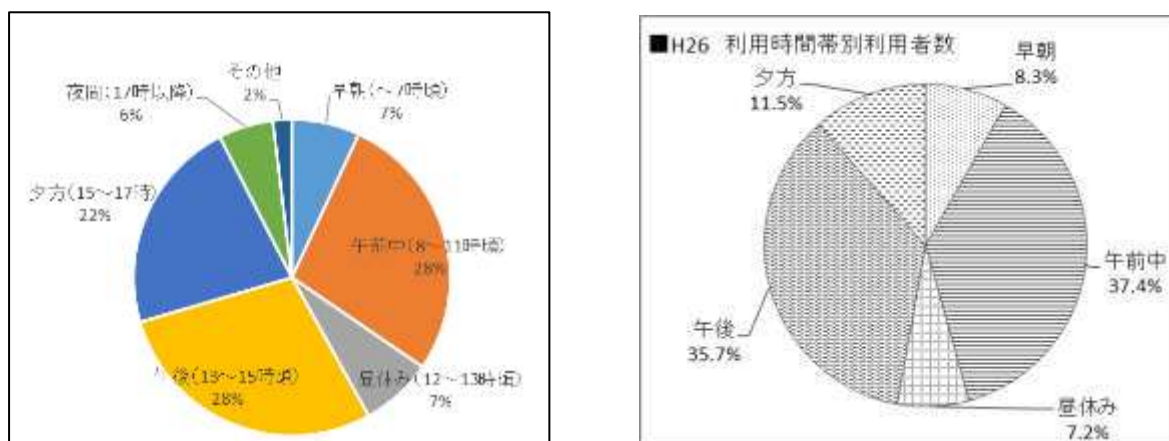


図 2-2-10 利用時間帯別利用者数

5) 到達手段

前回調査と同様に「徒歩」が70%で最も多くなっている。前回との比較では、「自転車」の割合が増加している。

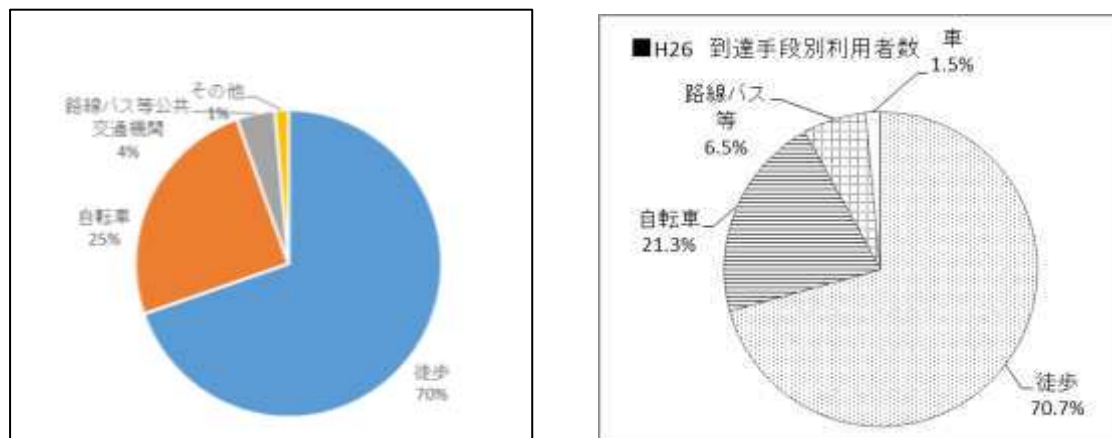


図 2-2-11 到達手段別利用者数

6) 到達時間

前回調査と同様に「5分以内」が41%で最も多く、次いで「10分程度」37%となっている。また、「10分程度」、「20分以上」が増加している。

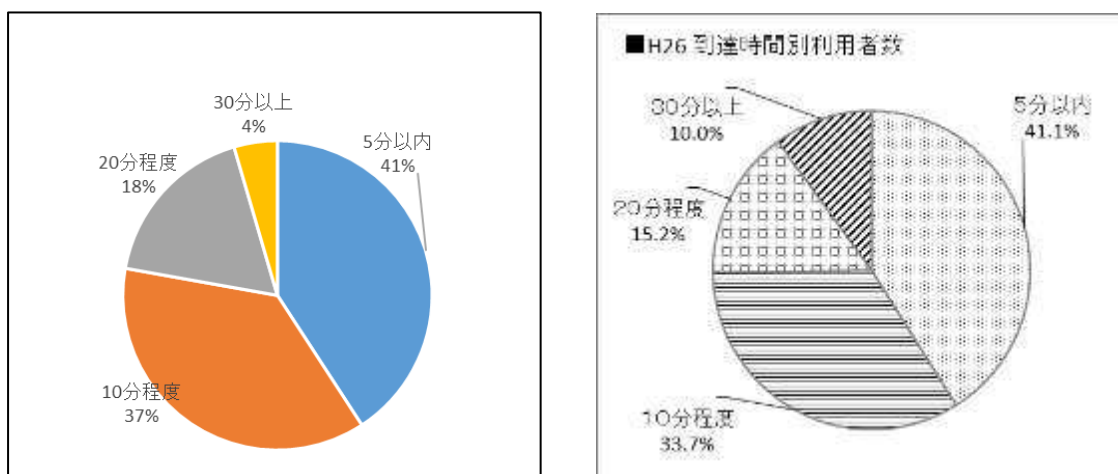


図 2-2-12 到達時間別利用者数

(4) 管理・運営への要望

1) 清掃管理

清掃管理では、「現状で十分」が76%と最も多く、次いで「清掃の回数を増やしてほしい」が17%を占める。

「その他」では、トイレ清掃や落ち葉、木の実の清掃への要望や、草刈り、花壇の手入れに関する意見、ゴミのポイ捨てなど利用者マナーの意見がある。一方、「落葉や木の実をきれいに片付け過ぎて、子どもが自然物に触れる遊びが難しい」など、自然のふれあいの観点で清掃への配慮を要望する意見もある。

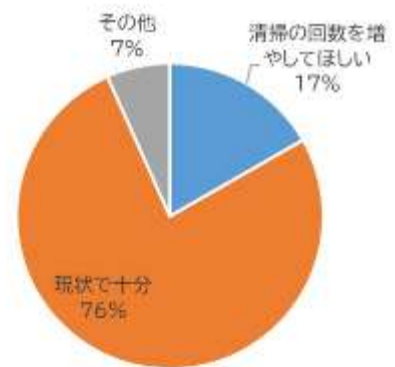


図 2-2-13 清掃管理について

2) 樹木等植物の維持管理

樹木等の管理は「現状で十分」が46%と最も多く、次いで「木をもっと大きく育ててほしい」、「樹木の種類を増やしてほしい」と回答した人が多い。

「その他」では、大木となった樹木の剪定・伐採など適切な管理に関する意見が多い一方で、日陰をつくる樹木の植栽や木登りのできる樹木の要望も多い。また、樹名板の設置など、ふれあいに関する意見もある。

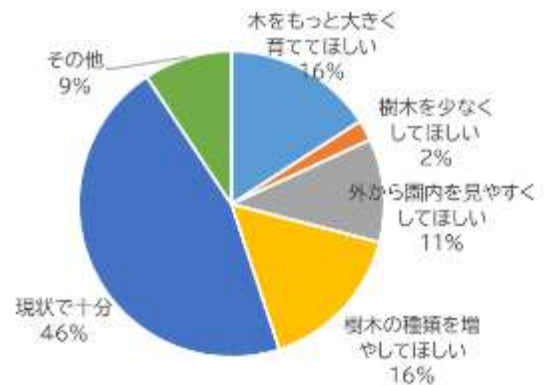


図 2-2-14 樹木等植物の維持管理について

3) イベント

イベント事業への要望では、「家族で参加できる」が25%で最も多い。次いで、「地域の行事」が19%で多く、「地域の商店や企業がイベントの場として活用」、「こどもだけで参加」、「高齢者も参加」に関しても多くの要望があり、誰もが参加できるイベントの開催が求められている。一方で、「静かな環境がいいのでイベントはいらない」とする意見が15%であった。

「その他」では、ドッグランやフリーマーケットなど、多様なイベントが障害者も含め参加できるインクルーシブなイベントについて要望が多いほか、大人一人でも参加できるイベントの要望もあった。また、イベント開催の事前周知など地域住民への配慮に関する意見もあった。

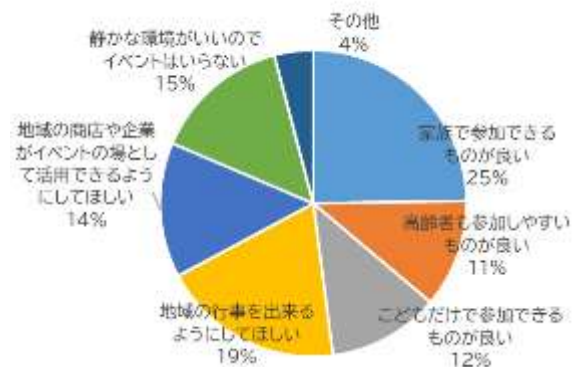


図 2-2-15 イベントについて

(5) 公園の利用・維持管理等の手伝い

1) ボランティア活動への参加意向

「考えたことがない」の割合が43%で最も多く、参加可否の検討を行っていない実態が示唆される。一方で、参加意向のある回答では「清掃や花壇、樹木などの世話」が18%で最も多く、次いで「その他の公園でのボランティアや活動グループへ参加」、「公園で行う自然観察会などの手伝いに参加」が多い。

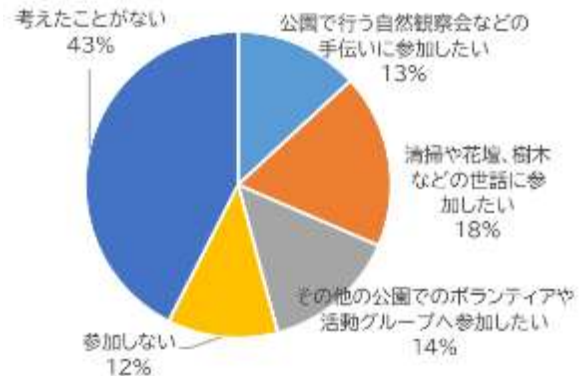


図 2-2-16 ボランティア活動への参加意向

2) ボランティア活動支援

「参加意向のある回答者」と「参加意向のない回答者（考えたことがない回答者を含む）」に分けて、それぞれボランティア活動を促進するための支援内容について要望を質問した。

「参加意向のある回答者」、「参加意向のない回答者」とともに「活動の周知、PR」の要望が多く、情報発信についての課題が示唆される。

その他、「参加意向のある回答者」では活動資金や活動場所の提供など活動への直接的な支援や講座・講習会の開催、専門家派遣などの技術向上に資する支援などの要望が多い。

「参加意向のない回答者」では、ボランティア活動への参加について考えたことがない回答者が多いため、参加を促す活動支援についても「特にない」が最も多い結果となったが、講座・講習会の開催など技術的な内容を含む情報の継続的なインプットへの要望が多い傾向が見られた。



図 2-2-17 ボランティア活動支援（参加意向あり）

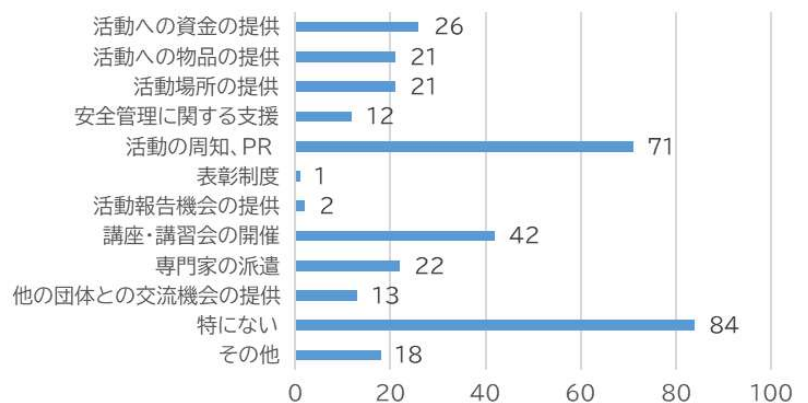


図 2-2-18 ボランティア活動支援（参加意向なし）

（６）施設要望

１）公園の数

区内の公園の数については「少ない」が42%で最も多い。次いで「ちょうど良い」が41%であり、「少ない」と回答した区民と同数程度である。

２）公園へのアクセス

公園へのアクセスについては「公園付近の安全な歩行環境を整備してほしい」が47%で最も多い。次いで「特にない」が34%となり、現状にあまり不満のない区民も一定数確認できた。その他、「公園周辺の交通を制限してほしい」との回答も13%となっており、公園周辺の歩行環境の安全性を確保するため、ある程度の規制も必要とする意見もみられた。

３）公園の遊具の改善

公園の遊具の改善については「特にない」が22%で、最も多い。次いで「幼児が遊べる遊具がほしい」が21%となり、「特にない」と回答した区民と同数程度の意向が示された。その他の健康器具や水遊び施設、区内ではまだ導入されていない遊具については、いずれも14~15%と同数程度であった。

４）公園の広場の改善

公園の広場の改善については「草はらの広場がほしい」が32%で、みどりの豊かな広場へのニーズが最も多かった。次いで「ボール遊びのできる広場がほしい」が27%となり、その他は「イベントのできる広場がほしい」が12%、「防災訓練などができる広場がほしい」が7%となっており、多様な使い方に対するニーズがあることが示された。

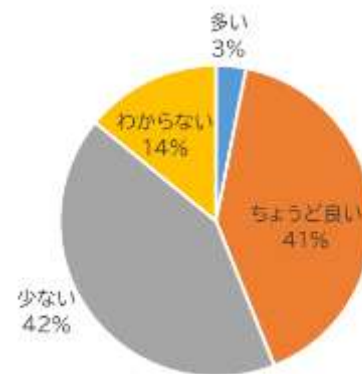


図 2-2-19 公園の数

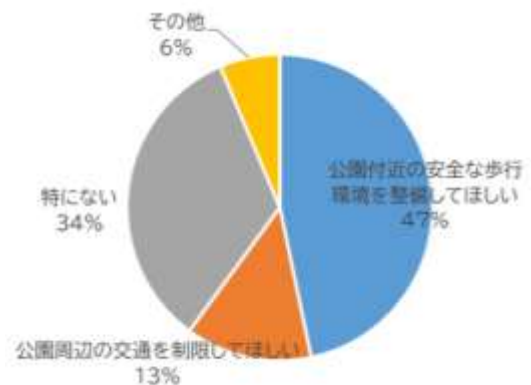


図 2-2-20 公園へのアクセス



図 2-2-21 公園の遊具の改善



図 2-2-22 公園の広場の改善

5) 公園の休憩施設の改善

公園の休憩施設の改善については「屋根のある休憩施設が欲しい」が30%で最も多く、暑熱環境や雨天時の避難場所として施設設置の要望があると思われる。次いで「休める芝生がほしい」が29%となり、屋根のある休憩施設と同数程度であった。その他、「ベンチがもっと欲しい」が26%となっている。

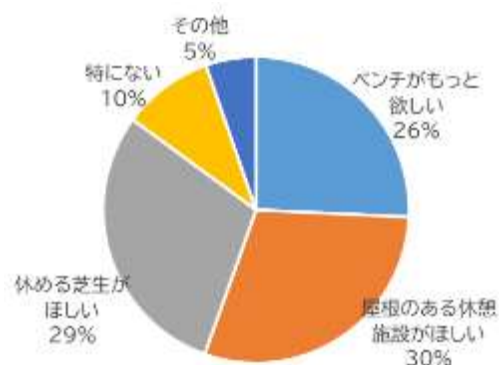


図 2-2-23 公園の休憩施設の改善

6) 公園のみどり・花の改善

公園のみどり・花の改善については「もっとみどりがほしい」と「特にない」がともに24%で、最も多い。次いで「野鳥が来るみどりがほしい」が23%、「花壇がほしい」が21%となり、単にみどりを増やすのではなく、野鳥を引き付けたり、花を楽しめるみどりの充実についての要望が比較的多かった。

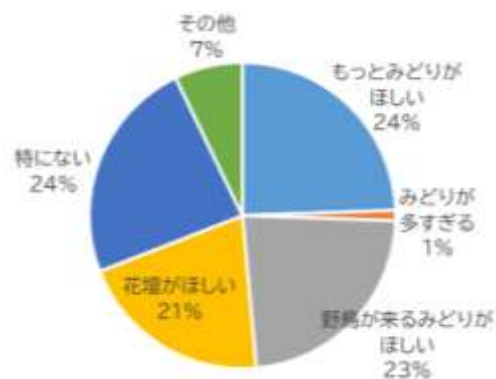


図 2-2-24 公園のみどり・花の改善

7) 公園の機能の改善

公園の機能の改善については「夜間も安心できる照明がほしい」が20%で、安全性に対する要望が最も多い。次いで「バリアフリー対応型トイレがほしい」が18%、「きれいな水飲みがほしい」が17%となり、衛生面に関する意見が多かったほか、「軽飲食を提供する施設がほしい」が15%、「駐輪場を作ってほしい」が14%で、利便性に関する意見も一定数出された。

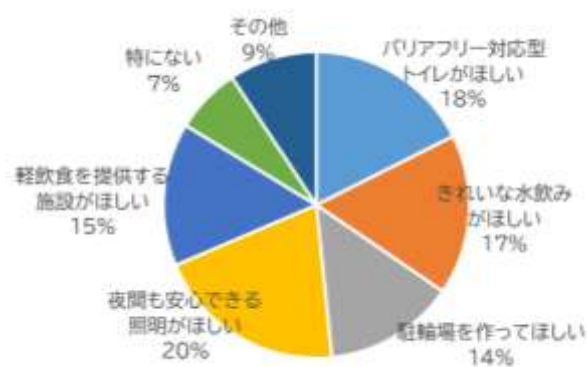


図 2-2-25 公園の機能の改善

(7) 希望する公園

1) 希望する公園（項目選択）

「ゆっくりくつろげる休息環境（原っぱ、水辺、ベンチなど）の整っている公園」が最も多く、次いで「昆虫採集、木登り、どろんこ遊びなどが自由にでき、自然とふれあえる公園」、「ボール遊びなど軽い運動ができる公園」、「幼児が遊びやすい遊具がある公園」が多く、主にレクリエーションや子育てに関する意見が多い傾向が見られた。

その他、「地域住民が花や果樹、野菜づくりなどの育成作業ができる公園」、「たき火などができる公園」、「祭りやフリーマーケットなどの催事や大道芸などで、自由に利用できる広場がある公園」といった地域活力の向上につながる公園の活用についても比較的多くの要望が出された。



図 2-2-26 希望する公園

2) インクルーシブ遊具の導入

インクルーシブ遊具の導入に関して、「幅が広く並んで滑れる滑り台遊び」が最も多く、次いで「車いすでも利用できる砂場遊び」、「スロープのついた遊具での遊び」、「クッション遊具などで跳ねる遊び」等の意見も比較的多く出された。

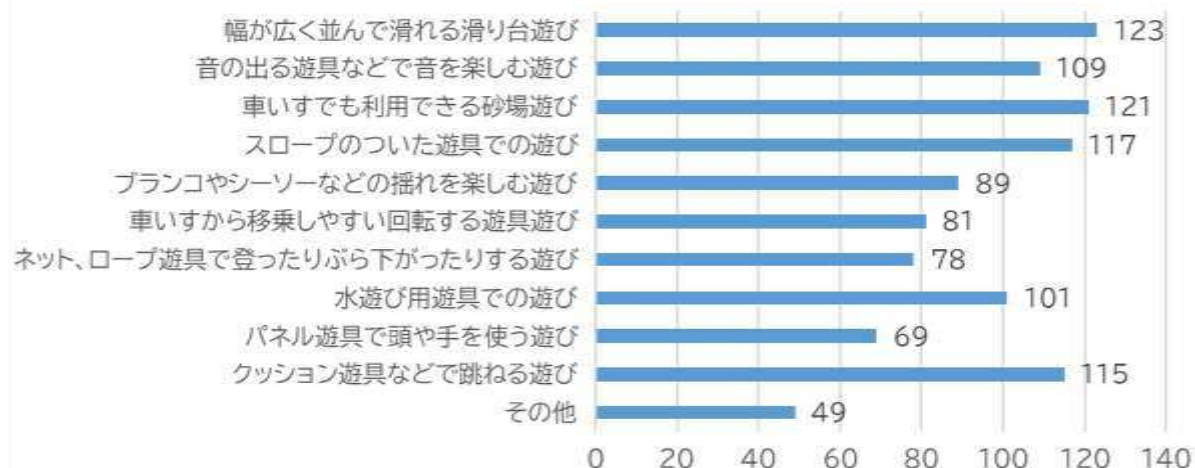


図 2-2-27 インクルーシブ遊具の導入

3) プレーパークの導入

プレーパークの導入に関して、「自然とのふれあい」の要望が最も多く、次いで「秘密基地づくり」、「木登り」、「泥遊び」、「水遊び」の意見が多く、自然とのふれあいを通して自由に子どもたちが遊べる環境への要望が多く出された。

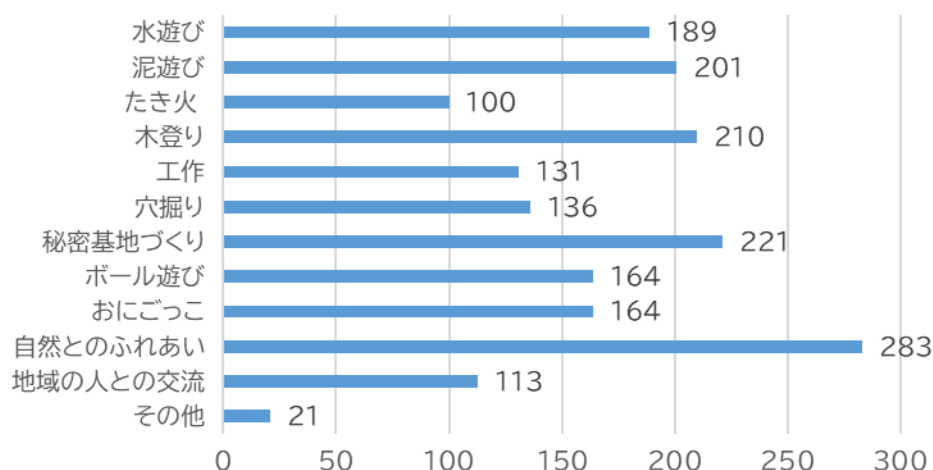


図 2-2-28 プレーパークの導入

(8) 回答者の属性の傾向

アンケート調査の回答者の属性データを以下に示す。

1) 性別

表 2-2-1 アンケート調査回答者の性別

	男 性	女 性	無回答	合 計
平成 26 年	174 人 (37.3%)	276 人 (59.2%)	16 人 (3.4%)	466 人
令和 6 年	144 人 (34.4%)	254 人 (60.6%)	21 人 (5.0%)	419 人

2) 年齢別

今回の調査では、「40～50 代」が 45%で最も多く、次いで「60 代以上」が 31%、「20～30 代」が 19%であった。

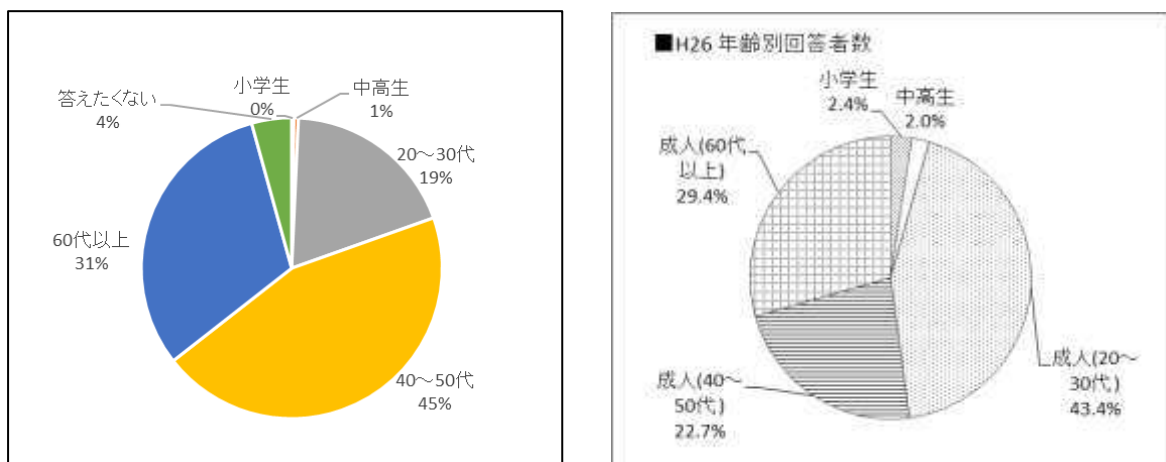


図 2-2-29 年齢別回答者数

3) 居住地

居住地は、遠方からの来園者も詳細に区分することとし、3 区分を 5 区分とした。割合としては、「区内」の割合が 98%と最も多く、「隣接区」の割合が 2%であった。

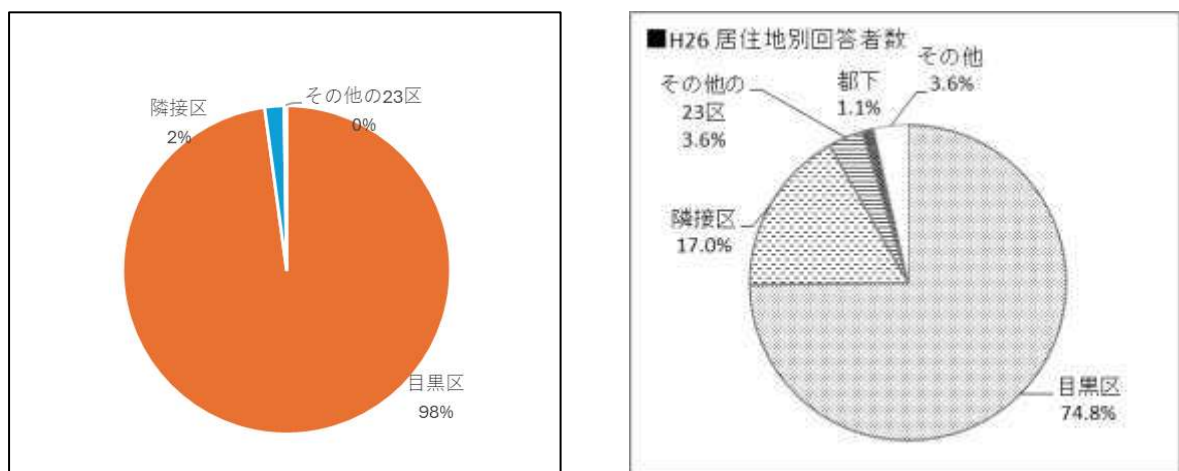


図 2-2-30 居住地別回答者数